

山形県産米を海外の食卓へ 輸出促進のための海外市場開拓

土地柄・課題
上質な米を生む
山形市本沢地区

山形市で米の卸業を営む、株式会社鬼嶋庄一郎商店。国内に向けた米の販売が主ですが、あわせて山形県産米の海外輸出にも力を入れています。その中で欠かせない商品となっているのが、山形市本沢地区で栽培を行っている有限会社本沢農産の米。「本沢地区をはじめ、山形市の西部には質の高い米の産地が集まっています。そのため、できるだけ西部地区で育てられた米を販売できるよう心がけています」。そう語るのは、代表取締役を務める鬼嶋庄一郎さん。そんな鬼嶋さんが米の輸出を行うようになったのは、以前、米の価格が下がってしまった時、「農家の方にモチベーションを上げてもらうためにも、これからは『輸出』という方法を考えていかなければならない」という見解を持ったことがきっかけだったと言います。

取組の経緯
心を掴んだ
はえぬぎの美味しさ

(株)鬼嶋庄一郎商店と(有)本沢農産による、山

工夫
試食で伝える
県産米の魅力

また、最近では山形県のブランド米である「つや姫」の人気も非常に高まっているそうです。

海外の人たちに県産米の美味しさを伝えるため取り組んでいるのが、現地のスーパーマーケットなどに出向いての試食販売です。「ごはんの味を引き立たせるため、また日本の食文化を伝えるため、いつも山形の漬物を添えて提供しています。皆さん『美味しい』と言って購入してくれるので嬉しいですね」と話す鬼嶋さんは頻繁に現地へ赴き、炊き立てのごはんを振る舞っています。

成果
自然あふれる
環境を海外へ発信

「海外の方は日本人と違って、何年産のお米とか、品種に対するこだわりというのはいり持っています。でも日本のお米が美味しいということはわかっています。だからこそ、山形の米は安心で安全で美味しいんだということをしっかり伝えていきたいと思っています」。

(株)鬼嶋庄一郎商店では約100t(トン)の県産米を輸出しています。平成25年10月からはシンガポールへも米の輸出を開始し、さらに平成26年には南東北クボタと連携、酒田港からの玄米輸出がスタートしました。米輸出への取り組みは山形以外でも多く見られましたが、安値で販売したことで続かなくなり、辞めてしまったところも多いとのこと。(株)鬼嶋庄一郎商店では、高価格帯でも売れ行きの良い「はえぬぎ特別栽培米」「太古自然米」や「つや姫」の輸出に力を入れたのがポイントとなったそう。また、今なお続く国内での米の価格低下をうけて、「輸出入の米を作る」という選択肢を設けることで、少しでも生産者の力になっていけたらと考えています。

今後の課題・展望
ブランド化することの
重要性

山があり川があり、また災害も少なく、農作物を栽培するのに最高の環境と言える山



タイでも人気の高い「はえぬぎ」(左)
また台湾や香港では特別栽培米「太古自然米」の売れ行きも好調とのこと(右)



事業の今これから
令和元年
12月現在

(株)鬼嶋庄一郎商店の輸出先は、現在アメリカのロサンゼルスやハワイまで広がっていました。海外での販売を始める際は鬼嶋さん自ら赴き、米の安全な品質について伝えるようにしてきたとのこと。特に、お子さんのいる家庭の奥様が関心を持ってくれる様子が印象的だったそうです。また、海外の方が山形に訪れていただけの機会づくりへの想いは現在も持ち続けており、以前、海外のバイヤーが訪れたこともあったとのこと。「当事業が現在まで続いているということが、県産米に対する評価だと思っています」と、これまでを振り返りながら話してくれました。



会社シンボルマークの由来
赤は太陽、黄色は稲穂、緑は大地、青は水と青空をイメージしています。

会社概要

株式会社鬼嶋庄一郎商店

住所／〒990-2473 山形県山形市松栄1-3-8
山形県産業創造支援センター内105号室
電話／023-645-5220

